

# はつかいち福祉ねっと通信

No.24

発行 はつかいち福祉ねっと事務局(廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ)  
 連絡先 TEL(0829)20-0224/FAX(0829)20-0225/E-mail [fukushi-soudancenter@true.ocn.ne.jp](mailto:fukushi-soudancenter@true.ocn.ne.jp)  
 ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kiraria/>

「ねっと通信」の個人宛メール配信希望者、募集中!

## 全体会報告

2月19日(水)に、市役所7階で、平成25年度第2回目の全体会を行い、総勢80名の方にご参加いただきました。

恒例となったオープニングの当事者発表では、夢工房のメンバーさんによる詩の群読をしていただきました。参加者の方からは「とても感動した」と大好評でした。

各部会、ワーキングからの報告の後に、今回のピックアップ部会として、福祉就労ワーキングの「プロジェクト発表」を行いました。

「info.表参道」や「商工はつかいちのチラシ封入」など、ワーキングの中で取り組みについて、映像やメンバーさんのインタビューなどを交えながら報告したことで、参加者の方から「取り組みの様子がとてもよくわかった」という感想が出されていました。

第二部の講演会では、広島市安佐南地域で活動をされているウイング可部の佐々木哲二郎さんを講師にお招きし、「やさしいまちづくり～可部での活動を通して～」と題して講演をしていただきました。可部というまちを誰にでもやさしいまちにしていこうという、ウイング可部のみなさんの活動は、

はつかいち福祉ねっとの活動に通じる部分がたくさんあり、参加された方からは「ぜひ一度ウイングに行ってみたい」「地域づくり、まちづくりのヒントをいただいたようにおもいます」といった感想をいただき、日々の活動のヒントになったのではないかと思います。



## 市地域支援ネットの名称が変わりました

これまで廿日市市の自立支援協議会は、「廿日市市地域自立支援ネットワーク（市地域支援ネット）」という名称で、地域課題の解決に取り組んできましたが、平成25年に障害者総合支援法が施行され、各地域で独自のネーミングにすることが可能になったことを受けて、改めて、「廿日市市地域自立支援ネットワーク」の名称について、検討させていただきました。

構成団体のみなさまに新名称案の募集を行ったところ、全部で12個の名称案の応募がありました。この名称案に対して、障がい別会議のみなさんに投票していただき、その投票結果をもとに部会代表者会議で名称の候補を一つ決定しました。2月に開催された全体会で、参加者のみなさまからのご承認をいただき、平成26年度から正式に名称を変更することとなりました。

決定した新名称は・・・「はつかいち福祉ねっと」です。

今後も、はつかいち福祉ねっとをどうぞよろしくお願いいたします！！

## ネット活動報告

### 障がい別会議

#### 精神障がい部会

2月26日に、恒例のおりづる出前教室を開催しました。30名近い参加者が集まり、今回はスポーツ吹き矢とカローリングを行いました。



カローリング

カローリングは、フロアの上をジェットローラーと呼ばれるストーンをころがして、的に近づけて点数を競う「室内版カーリング」です。ソチオリンピック直後だったため、「ニュースで同じようなのを見た！」とみんな少し興奮気味でした。

廿日市市でもスポーツ備品としてカローリングを購入しているため、「事業所のレクレーションで利用してみたい」と検討されている事業所もいくつかありました。

## 児童部会

2月28日（金）に初の保護者交流会として「冬の宮島散策～おとなの新年会～」を開催しました。宮島の西から東まで車が通れる所まで行き、美味しいご飯をいただいた後にショッピングも楽しみ、宮島の素晴らしさを改めて感じることができました。日々の子育て等から少しだけ離れ、良い息抜きになったのではないかと思います。子ども達と一緒に行く場所の下見等も兼ねて、今後も時々、保護者だけの交流会を開催していきたいです。

平成24年度に初めて実施した「地域とのつながりづくりアンケート」では、主任児童委員さんとのつながり状況の確認や、新たにはつかいち福祉ねっと児童部会の構成団体に所属される方へのつながり希望の確認等を行うため、毎年、アンケートを実施することになりました。

3月18日（火）の主任児童委員さんの会議に出席させていただき、皆さんから上がったご意見を参考に、アンケートを作成しました。各構成団体に所属されている方に配布し、回収後、希望される方と担当地区の主任児童委員さんとのつながりづくりのお手伝いをさせていただきます。



## 課題別会議

### 福祉就労ワーキング

福祉就労ワーキングでは、作業所の製品をもっと知ってもらうための取り組みとして、廿日市市役所一階ロビー（待合スペース付近）にショーケースを用意して、廿日市内の各事業所の展示をはじめました。



ただ、一度にすべての事業所の商品を置くには、スペースがないので、2～3事業所でローテーションを組んで、2か月を目途に展示商品の入れ替えをしたいと思います。

廿日市市役所に立ち寄られた際はぜひ見てみてください♪

### 余暇活動支援ワーキング

3月11日（火）、放課後長期休暇支援にかかわる事業所の職員のみなさんを対象に「放課後・長期休暇支援スキルアップ研修」を開催しました。当日は、湊崎和範先生（広島西医療センター小児科医師）から、「将来のために、学齢期に必要な放課後・長期休暇の過ごし方」というテーマでご講演をいただきました。19時～21時という夜の時間帯にもかかわらず、50人近い方のご参加をいただき、みなさんの関心の高さを感じました。湊崎先生からは、発達障がいに関する基礎知識から、サービスの多様化から先生が危惧されている点まで、幅広いお話をいただきました。参加者からは、「今後の自分たちの支援のあり方をしっかり考えて行く必要があると再認識した」「継続してこういった学習会を開催してもらいたい」等の感想が寄せられました。

## 訪問介護事業所連絡会

2月16日（日）、NPO法人リハケアリングネットワークのさまざまな資格を持った指導者のみなさんを講師にお迎えし、「なちゅは介護セミナー」を昨年度に引き続き開催しました。

「今年も是非！」という声が多くあがった研修であったこともあり、日々の業務が忙しい中、50名近くのヘルパーさんが参加され、「人の動きの基本」と「自分の体の使い方」を考え、同時に「福祉用具も有効に活用」した、ケアする側にとっても、される側にとっても負担のないケア技術を学びました。

今年度は、「床から車いすへの移乗方法」、「狭いトイレ内での座り直しの介助方法」等、日頃悩んでいることについてもアドバイスいただき、有意義な時間を過ごすことができました。

2月だというのに…暖房なしでも汗をかくほど、会場内はみなさんの熱気でいっぱいでした。



## 児童部会・権利擁護部会

3月10日（月）、児童部会・権利擁護部会共同企画学習会「支援者（保護者）が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」を開催しました。

講師は、NPO法人年金ヘルプデスクの松原智治先生・山下千絵先生。

何がわからないかすらよくわからない…そんな障害年金について、「障害年金って何？」「準備しておくものは何？」「誰が受けられるの？」など、基本的なところからわかりやすくお話していただきました。

子どもさんであれば、小さい頃の様子や検診で言われたことなどを記録しておくこと、母子手帳や学校の通知表、健康診断の記録等をとっておくことが、後でとても役に立つことや、病気かな？障がいかな？と気になって、はじめて受診した病院で、今の段階で証明をもらっておく（初診証明）ことも後で役立つこと…など、具体的に今できることのアドバイスがいただけ、障害年金申請を少し身近なものに感じることができました。さっそく、初診証明をもらう準備に取りかかれた人もいらっしゃったようです。

障がいのある人の生活の糧となる障害年金。正しく理解するための第一歩になりました。

